

H27年度 学校評価・自己(内部)評価 最終 H28.1

評価について 4(十分達成) 3(やや達成) 2(やや不十分) 1(不十分…該当なし)

	中期経営目標	短期経営目標	具体策	評価	4	3	2
学校 教育 目標 ・ 経営 の 基本 方針	人間尊重の精神を基調とした明るく平和な社会の形成者として、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成を目指す。「自ら進んで学び、よく考える子」「自然や人を愛し、共に生きる子」「責任をもって、根気強くやり抜く子」「運動に親しみ、丈夫な体をつくる子」の育成。	法令や規則等の規準、教育推進計画に示された理念に基づいた学校運営を行い保護者や区民の信頼に応える。一人ひとりの子供が大切にされ、確かな学力と豊かな社会性が育つ学校を目指す。学習環境や生活環境の整備と美化に努める。子供、教師、保護者、地域住民が信頼し合い共に学び、育つ学校づくりに努める。教師の資質の向上と組織的な教育力の向上に努める。	問題解決学習を推進し、言語活動の充実を図っている	3.2	20.0%	80.0%	0.0%
			教職員の共通理解のもと、生活指導の体制を強化し、児童一人一人の心を理解し、あたたかな指導を進める。→ 共通理解についての指導法OJT・ケース会議を続けていく。	3.2	25.0%	70.0%	5.0%
			クラス遊びや体育の授業を充実させ、みんなで遊ぶ楽しさを味わわせるとともに、児童の体力の向上に努めている ・休み時間には遊ぶ場所に行かせる。声をかけ続ける。 ・朝会、集会のある月・水・金の朝遊びは、8時10分までとする。 ・運動朝会、長距離走カードの取組をする。	3.1	20.0%	70.0%	10.0%
			学校便り・学年便り・ホームページを充実させ、授業参観・学校公開を行うなどして保護者・地域への情報発信を十分に行っている ・専科の授業公開を計画的に行っていく。 ・学年便り・昭和便りは、更新や個人情報保護について情報部で	3.2	20.0%	75.0%	5.0%
					0.0%	0.0%	0.0%
確かな 学力の 育成	学習指導要領の趣旨を踏まえ、学習意欲を高め、思考力・判断力・表現力を育てる。	友達とのかかわりの中で、学び合い、深め合う機会を作る。 少人数指導、チームティーチングの活用を図る。	個々の理解状況に合わせて、基礎学力の定着を図る指導を工夫している ・ 少人数算数の指導方針(採点基準や宿題も)について、統一見解をもつ。 ・習熟度別指導のOJTを行う。 ・低学年も習熟度別を実施しながら、問題点を解決する方向で話	3.1	10.0%	85.0%	5.0%
			「わかった」「できた」という喜びのある指導をしている ・学習カード、ノート指導、学習感想の記入など、全校で共通理解して指導する。・教師の励ましの言葉を心がける。	3.1	10.0%	90.0%	0.0%
			日々の学習のねらいが明確で、一人一人の考える力や学ぶ意欲を育む教育を行っている。・アサーショントレーニングのOJTを行う。学年朝会でアサーショントレーニングを実施する。 ・学習規律・規範意識の確立、板書・掲示物の工夫、OSの活用	3.3	25.0%	75.0%	0.0%
			授業は、子どもにとって分かりやすい内容である ・教材開発、指導の工夫など、教師が授業研究したことを全教員で共有化する。 ・各学年の工夫、具体的事例の報告もOJTに加える。	3.2	20.0%	80.0%	0.0%
豊かな 心の 育成	深い児童理解と教育愛に立脚した指導を行い、豊かな人間性を育む。	子どもたち一人一人が活躍できる場を設定し、自己有用感を高める。思いやりのある言動、精一杯力を発揮した活動などを賞揚し、活動意欲を高めるとともに、他の児童の模範とする。配慮を要する児童や特別な支援を要する児童については、全教職員が共通理解を深めるとともに、関係諸機関と連携し、適切な方策を探る。	人のために役立つ喜びを味わせている ・OJTの内容を毎年必要に応じて変える。 ・4月の職員会議で当番と係の違いについて確認する。	3.1	10.0%	90.0%	0.0%
			「心の教育」の充実に向けて、道徳の時間を要として道徳教育に積極的に取り組んでいる ・ 人権教育の年間指導計画の道徳の部分で、人権課題に関連させながら、見直す。	3.2	21.1%	78.9%	0.0%
			都や区のスクールカウンセラーを活用して、いじめや不登校、特別支援などの課題に取り組んでいる ・必要に応じて、年度当初に支援目標を作成し、保護者や関係機関とも連携を図りながら、個別ケース会議を行っていく。	3.3	25.0%	75.0%	0.0%
			話の聞き方や発表の仕方などの学習のルールが守られた中で指導を行っている。・低学年で聞く姿勢や体育の集団行動の型をきちんと身に付けさせる。 ・全校朝会のやり方を、「休め」のタイミングやおじぎの仕方など細かいところまで徹底する。	3.0	20.0%	60.0%	20.0%
			学校生活で起きた問題(いじめ等)に対して、素早く適切に対応している ・常設や金曜夕会での情報共有 ・ケース会議・いじめ等校内対策委員会・保護者との情報の共有	3.2	20.0%	80.0%	0.0%
確かな 心身の 育成	困難なことがあっても前向きに取り組む、克服していける力を養うため、強靱な精神力と健康・体力を培う。	児童の性格や能力を十分把握し、適切な目標を設定する。 目標を達成するための手立てについて、適切な助言を行う。 健康や体力増進について関心をもたせる。安心・安全な給食作りにも努めている。我慢する場面を意図的に設定する。	努力によって目標が達成される喜びを味わせている	3.3	25.0%	75.0%	0.0%
			個性や可能性を大切にして支援している	3.3	25.0%	75.0%	0.0%
			あいさつなどの基本的な生活習慣の育成に向けて、一年間を通して計画的に取り組んでいる ・挨拶運動は高学年が取り組んで手本を見せる。ねらいや意味を理解させて行う。 ・カードの取り組み、あいさつにもわかりやすい標語を作る。 ・保護者にも挨拶運動での協力を呼びかける。	2.9	5.0%	80.0%	15.0%
			手洗いうがい等の健康教育を一年間を通して計画的に取り組んでいる ・ハンカチや手洗いやびかけ(学級・ほけんだより・保健委員会)ハンカチ調べ(委員会)	3.0	9.5%	81.0%	9.5%
			給食の安全への取り組みを日常的に行っている ・給-2(各学年の指導も考慮して改善)を参照して各学年で統一して指導 ・食堂として衛生的に使用する際のきまりも合わせて記載する。	3.2	23.8%	71.4%	4.8%
			季節や旬に応じた食材などを取り入れ、集団で食事をする楽しさを味わせている	3.6	57.1%	42.9%	0.0%

新年度の目標	地域の中の学校として、地域愛・郷土愛を育む。	家庭の教育力・地域の教育力との連携を図る。 地域の人材・教材の活用を図る。 学校だよりやホームページを効果的に活用する。	保護者や地域との交流を大切にして、連携を図っている 地域パトロールや祭礼等へ参加している ・保護者や地域のボランティアの方々の活動を周知し、挨拶や言葉かけなどができるようにしていく。 ・地域行事へ参加する場合は、職員であることが分かるようにベストなどを着用する。 防犯マップやスクールガードを活用して、地域の安全を図る活動を行っている 地域の方々や、地域の環境・施設を積極的に活用した教育活動を行っている ・学校と地域をつなぐ人材をPTAなどの協力で決め、教員の要請と地域をつなぐ。その上で、保護者や地域の方に講師などを依頼し、専門性を生かした教育を展開する。 開かれた学校の一環として、PTA活動や地域の行事に協力している 保護者の意見や要望を受け止めながら、協力して教育を進めようとしている ・保護者アンケートの内容を周知している。 ・学校側の考えや方針を保護者会やPTA総会などで積極的に伝 来校時や電話での教職員のあいさつや対応は、保護者・地域の方々にとって丁寧で適切である ・授業参観中の私語防止(お知らせに入れる・当日も掲示などで	3.3	26.3%	73.7%	0.0%	
	特色ある教育活動	歴史や伝統を踏まえ、昭和小学校ならではの教育活動を展開する。	保護者や地域のニーズを的確に把握し、子どもたちが意欲をもって取り組める活動を行う。	縦割りによる異学年集団の活動に年間を通して取り組むことにより、児童の思いやる心情、所属意識、愛校心を育てている ・全校遠足の来年度以降の方針を全体で確認する。	3.5	45.0%	55.0%	0.0%
				4、5、6年の鼓笛演奏活動を本校の伝統的な教育活動として位置づけ、活動内容を充実させている ・音楽専科・学年共に、マナー・楽器の扱いを徹底。個々の児童が楽器を乱雑に扱っている等を見かけたときに、全職員がその場で声かけて指導する。	3.3	36.8%	57.9%	5.3%
				オープンスペース、多目的ホール、屋上など、施設の特徴を生かし、多様な教育活動を展開している ・ランチルームの実情を周知し、使用を絞り込む。	3.3	33.3%	61.9%	4.8%
				様々な教育活動に保護者ボランティアに参加していただき、保護者による教育活動への理解を促進するとともに、開かれた学校づくりを推進している・保護者のボランティアリストを作る。・地域支援本部の学習面での活用・外国語ボランティアの支援の仕方を年度当初に。	3.2	15.0%	85.0%	0.0%
				各行事や教育活動全体の中で周年記念を意識させ、児童の学校を愛する心情を育てている	3.0	6.7%	86.7%	6.7%
課題	教育目標の達成に向けて、効果的な組織運営を行い、教育水準の向上を図る。	校務分掌や主任制などを適切に機能させ、組織的な運営・責任体制を整備する。	職員会議が学校運営において有効に機能している ・木・月にする提案は金曜にしない。 ・簡単な提案内容や提出物の締切日などをまとめてボードに掲示する。その確認は司会が手短けに行う。	3.2	31.6%	57.9%	10.5%	
			学校が管理する資金(公費)の予算執行に関する計画、執行、決算が適切に行われている ・現在図書コーナーに置いてある移動式の棚をホールの壁面や中庭側の廊下に設置し、試行期間とする。	3.3	30.0%	70.0%	0.0%	
			各文書や個人情報などの情報の取扱方針の周知がされ、適切に管理されている	3.1	15.0%	75.0%	10.0%	
			担当する分掌の課題を解決している(一人一改善、一人一工夫など)	3.2	26.3%	68.4%	5.3%	
			校長をはじめ教職員が協力して、教育目標の達成に向けて教育活動に取り組んでいる	3.4	35.0%	65.0%	0.0%	
			甲のそ	教育課程		・委員会は45分とし、クラブ時の月曜はB時程で活動を60分行う。 ・他曜日の月曜時間割、入学式委員会は今後も同様に実施する。	3.5	
教務		・OJTを職員会議後10～15分行う。必要度の高い内容とする。 ・あゆみの裏面に児童名を入れる。		3.6				
生活指導		・貸し出し用の上履きが足りないので、募集する。		3.2				
特別活動		・代表委員会紹介集会、委員会紹介集会、なかよしリーダー紹介集会は、教育計画に入れる。 ・集会委員会は児童の作ったポスターを職員室にも届ける。		3.2				
保健給食		・給食後の歯磨きは、施設面時間面から考え難いため来年度は行わない。・6月の学校歯科医による染め出しは、土曜授業公開、2年生で指導していく。また、継続指導の一環で学童歯磨き大会(ネット配信)に5年生を参加させる。		3.2				
校内研究(成果と課題も)		・全体計画を作り、共通理解して実践する。 ・教師、児童の人権感覚を高める実践事例を提示する。		3.1				
その他		・学習教室の持ち方について新年度計画で共通理解をもつ。 ・朝会での校歌は教職員も一緒に歌って児童の歌を向上させていく。 ・学習発表会の会場設営を6hカットで行うかは、授業時数全体を見て決める。		3.2				
					15.8%	84.2%	0.0%	